

スーパーハイウェイ
ひろがる! ひろがる!

新東名高速道路

御殿場JCT~浜松いなさJCT145km

6車線化完成

12月22日^火



お待たせしました!新東名高速道路が12月22日(火)14時、御殿場JCT~浜松いなさJCT間約145kmで6車線化します。この完成とあわせて、最高速度規制120km/hの本格運用が開始され、いよいよ、スーパーハイウェイとしての新たな姿を皆さまにお見せできるようになります。上下線が各3車線にひろがることで、渋滞や突発的な事故の時にも円滑な対応が可能に。需要が高まるダブル連結トラックや、実用化が迫るトラック隊列走行では、物流の効率化をぐんぐん進めます。東名高速の高波による通行止めや老朽化した区間の大規模な更新・修繕を行うリニューアル工事でも、6車線化した新東名は代替路としての大役を果たします。ひろがる!スーパーハイウェイ、その安全性・快適性にご期待ください。



時代をリードする高速道路として進化

中日本高速道路株式会社 代表取締役社長CEO 宮池 克人

NEXCO中日本の事業につきましては、平素より格別のご高配を賜りますとともに、多くのお客さまに高速道路をご利用いただき厚くお礼申し上げます。

新東名高速道路(新東名)の御殿場JCTから浜松いなさJCTまでの間、約145kmが、12月22日(火)に4車線(片側2車線)から6車線(片側3車線)に広がります。

これもひとえに、拡幅工事でご迷惑をおかけしたお客さまや地元自治体など関係者の皆さまの深いご理解とご協力、そして、6車線化事業に従事された関係者の方々の献身的なご努力の賜物と、深く感謝申し上げます。

新東名は、12年に静岡県区間、16年に愛知県区間が開通して以来、東名とのダブルネットワークが形成され、東西交通に対する定

時性の確保や、リダンダンシーの強化などの効果を発揮し、日々の暮らしや経済を支える日本の大動脈として貢献してきました。

このたびの6車線化の完成により、東名のリニューアル工事や高波による通行止めに対する迂回機能のさらなる強化、無理な追い越しや車線変更の減少による事故率の低減に加え、ダブル連結トラックやトラック隊列走行といった次世代の物流システムを支えるほか、最高速度規制120km/hの本格運用が開始されます。

新東名は、23年度までの全線開通を目指して、伊勢原大山ICから御殿場JCTまでの間の建設事業を全力で進めております。時代をリードする高速道路として、さらに進化し続けてまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。